



K.UNO NEWS LETTER

Vol. 18

ケイウノは全国に店舗展開するジュエリーのオーダーメイドブランドです。
この広報通信では、毎月1回、ケイ・ウノのジュエリーやオーダーメイドに関する
さまざまなヒト・コト・モノの情報をお届けします。



「ライブを身につける」という
新しい楽しみ方を広めていきたいと思っています。

「あなたの想いを宝物に」をキャッチに、大人の遊び心をカタチにする本格的キャラクタージュエリー、アクセサリーブランドとして海外からも注目が集まる「U-TREASURE (ユートレジャー)」。

昨年夏に続いて、日本のベースヒーローKenKenさんのコラボレーションが実現しました。今回の作品は、ベースのネックをモチーフにしたバングル。使われているのはKenKenさんが実際に

ライブで使用したオリジナルの弦です。これまでどこにもなかった音楽とジュエリーのコラボレーションについてKenKenさんと製作を担当したケイ・ウノの職人久保田に伺いました。

久保田 淳

茨城県出身。2005年ケイ・ウノ入社。
アドバイザー、生産管理を経てCAD係OD(オーダー)班リーダー。造形の美しさにこだわり、ジュエリーの原型となる3Dモデルを製作する職人。

KenKen

1985年東京・下北沢生まれのベーシスト&ゲーマー。小学校低学年の時にベースに出会い、中学生の頃から数々の演奏を重ね、数多くのバンドやプロジェクトに参加し、天才的なテクニックと周囲を圧倒する激しいパフォーマンスで人々を魅了。近年では、ラジオパーソナリティ、映画出演やゲーム・CM音楽などLIVE以外でも活躍。

アーティストとファンを結ぶ ブランド「rizm」



シルバー950を使用したバングル。両サイドにはKenKenさんのロゴが刻印

— 今回のバングルは昨年夏の扇子に続いての商品となります。どちらもKenKenさんがステージで使ったベースの弦を使用しています。

KenKen…ベースの弦って、切れるまで何年も張り続けている人もいますが、僕はリハーサルやライブ毎に交換します。だから、あつという間に使用済みの弦が段ボールいっぱいになっちゃうんです。

例えば、昨年はRIZMやDragon Ashのアンバー

サリーイヤーだったこともあって170本以上のライブがあったので約400セットの弦を使いました。

僕は「GenGen(ゲンゲン)」というオリジナルの弦を作ってしまうほど弦にこだわりがあつて使い終わったからといって、ただ捨ててしまうのはもったいなくてなんとかしたいなと思っていました。

「もつたない」以外にも思っていたのは、いつ、どの現場で使ったかによつて弦に残っているパワーが違うんじゃないかなと。それでライブで使った弦を何かの形にできないかなと以前から考えていました。

— それでブランドを立ち上げられた。

KenKen…そうです。ブランド名はR(ecycle)+ism(主義、想い) || rizm。アーティストが使用する楽器をリユースして、アーティストとファンを「結ぶ」新たな価値を創る、という意味をこめて命名しました。

その後、あるご縁からケイ・ウノさんに僕の弦を使って製作をお願いすることになって、昨年夏、扇子をつくってもらいました。



2弦と3弦で編み込まれた水引き

— 扇子をご覧になっていかがでしたか？

KenKen…僕、もともと着物とか和とかすごく好きなので、扇子という発想がうれしかったですね。弦を水引きのように編み込んでもらつて、飾り房になつているのがすごくいい。あれをつくる時も長さとか編み方とかをどうするか、ずいぶんやり取りさせてもらいましたよ。

久保田…そうですね。水引の大きさや重さをいろいろ試行錯誤しました。何パターンか出させてもらつて検討していただきましたね。ファンの方はあの扇子を持つてライブにいらつしやるんでしょうか。



「和」が大好きというKenKenさん。扇子を持つしぐさがびたりと決まる

KenKen…います、います。扇面にサインを求めてくる方もいらつしやつたし、自分でつくったケースを見せてくれた人もいましたね。そうかと思うと、外には持つていけないで自宅に飾つてくれる人もいるみたいで、みんなその人らしい楽しみ方をしてくれてるんだと思います。

自分が観たライブの 弦がバングルに

— バングルについてうかがいます。
ベースのネック部分がイメージされた
デザインなんですね。

久保田..そうですね。弦を使うアイデアがいろいろあつて、編み込んで座れるくらいの椅子にしようとか。でもせつかくライブで使った弦なので、ベースをモチーフに身につけられるバングルに決まりました。僕は中学生からバンドをやっていることもあつて、ベースという楽器を、いかにバングルというジュエリーに落とし込むかこだわりました。その一つが弦全体に美しいアールをかけ、フレットにへこみを入れてキレイに収まるようにしたところ。楽器だと弦は浮いてるんですがバングルはそれができるから。

Ken Ken..そうそう。最初の試作品を見せてもらつて、「楽器がわかってる人がつくってくれてる」というのがすごくわかつたんです。



ジュエリーの製作現場は初めてのKenKenさんは興味津々



手の甲のタトゥーは平和と幸せを願うピースマーク

楽器ってバランスがすごく大事で、バランス感のかつこよさが絶対にある。そこがちゃんとバングルに落とし込まれて、これはすごいなと思いました。楽器が身につけられるというデザインもミュージシャンとしては一番うれしい形ですね。

久保田..ありがとうございます。そう言っていただけだと感無量です。もう一つお話させていただくと、「重み」「も大事にしました。実は社内です。ちよつと重いのでは？」という意見もあつたんです。重量は価格にも関係してくることもありますし。

でもベースの雰囲気を出そうと思うと、ある程度の幅も必要です。それにこのバングルはつけてライブに行つてほしいなと思ひました。存在感も出ますね。また、薄くしたりほそくしたりすると変形しやすいですから。

Ken Ken..そこまで考えてくれたんですね。ありがとうございます。うれしいです。

今つてもものづくりにかける時間と手間に対する評価が不透明になりつつある時代になつていいると思うんですね。なので、単純に値段の高い安いだけを見るんじゃなくて、バングルに込められたいろんな想いがファンの方に伝わるいいなと思ひますね。

— 販売サイトを拝見すると、どのライブで使用された弦なのかがわかるようになつています。

Ken Ken..そう。RIZE、Dragon Ash、LIFE IS GROOVEの3つのバンドの中からどの公演で使用した弦を使ったバングルかが選べるようになっていいます。ライブは本当に一期一会、その日その日の僕の演奏が弦に閉じ込められているというか……。

久保田..普通だとベースストってピックを持つて弾く方も多いんですけど、Ken Kenさんは指で弾くから、よけいに弦にパワーが入りますよね。

Ken Ken..そうそう。すごい力で握つたり音を出したりしているんで、その時の演奏によつては弦に傷ついているものもあると思ひます。1本1本が全部違う。それもまたライブ感があるしオリジナル。

僕にとつてライブは二つひとつが特別なんですが、ファンの方にとつても同じかそれ以上に特別なと思ひます。どのライブの時の弦を使ったバングルかわかれば、自分が観に行つたからほしい

かもしれないし、チケットが取れず観に行けなかつたから持つていたいと思ひかもしれない。

ライブによつて選べるのが大事だし特別感があるかなと。いろんな自分だけの思い入れがまつたアクセサリーにもなると思ひます。

久保田..バングルの販売が始まつてから、SNSなどでお客様の反応を見ていたのですが、すごくよかつたという書き込みがあつたりして、関わつた人間としてはすごくうれしいですね。

Ken Ken..そうやって、実際にバングルをつけてくれる人からまた伝わっていくと思ひます。



実はKenKenさんの大ファンの久保田さん。この日は終始緊張気味

音楽ファンとジュエリーファンが 出会える新たなフィールド



U-TREASURE新宿店のKenKenさんのコーナー。7月29日まで期間限定で展示

— 今回のバングルは r i z m とし
ての第4弾になりますが、今後は
どんな展開を考えていらっしゃる
ますか。

KenKen.. r i z m を立ち上げた
時に考えたのは、「ライブを身につけ
る」という新しさ。それがあたりまえ
になつていったらうれしいです。

r i z m のコンセプトは、アーティ
ストが使用する楽器をリユースして、
アーティストとファンを「結ぶ」新たな
価値を創ることなので、今後は僕以外
にもいろんなミュージシャンの方が出
てくるとおもしろいなと思います。
それぞれのファンの方からこんな人

やつてほしいとか、意見が出てきたら
いいですね。

さらには、音楽とジュエリーのファ
ンつて全然別かもしれないけど、今回
のようにコラボレーションをすること
でそれぞれが新しいフィールドを見つ
けてもらえればいいと思います。

久保田..確かに、今回「ユートレ
ジャー」に扇子やバングルだけじゃな
く、KenKenさんがプロデュース
したベースもディスプレイさせても
らつていますが、ショップ自体が新鮮
な感じです。

KenKen..弦つて金属として再利用
しづらいところがあつて、これまでは
もつたないと思ひながら捨てちゃう



しかなかった。でも、今回のように形
を変えて生まれ変わるつてすごく
クリエイティブな発想。しかもただ
再利用するんじゃなくて、かつこよく
よみがえる。扇子もバングルもすごく
いいです。

久保田..ありがとうございます。
KenKenさんからいろいろおつ
しやつていただけると、そのハードルを
越えるためにがんばれます。

KenKen..いやいや、本当にいろんな
無理をきいていただいてありがとうございます。
これからまたいろいろ
ものをつくつていきたいですね。

7月の誕生石 「ルビー」

ケースカラーや文字盤が自由に組み合わせられるカスタムオーダー
「Custo Wa(カストヴァ)」シリーズ。日本製の機械式ムーブメントを
搭載しています。リュウズの先端にあしらわれているルビーがアクセント
となって、一層スタイリッシュな印象を与えています。

